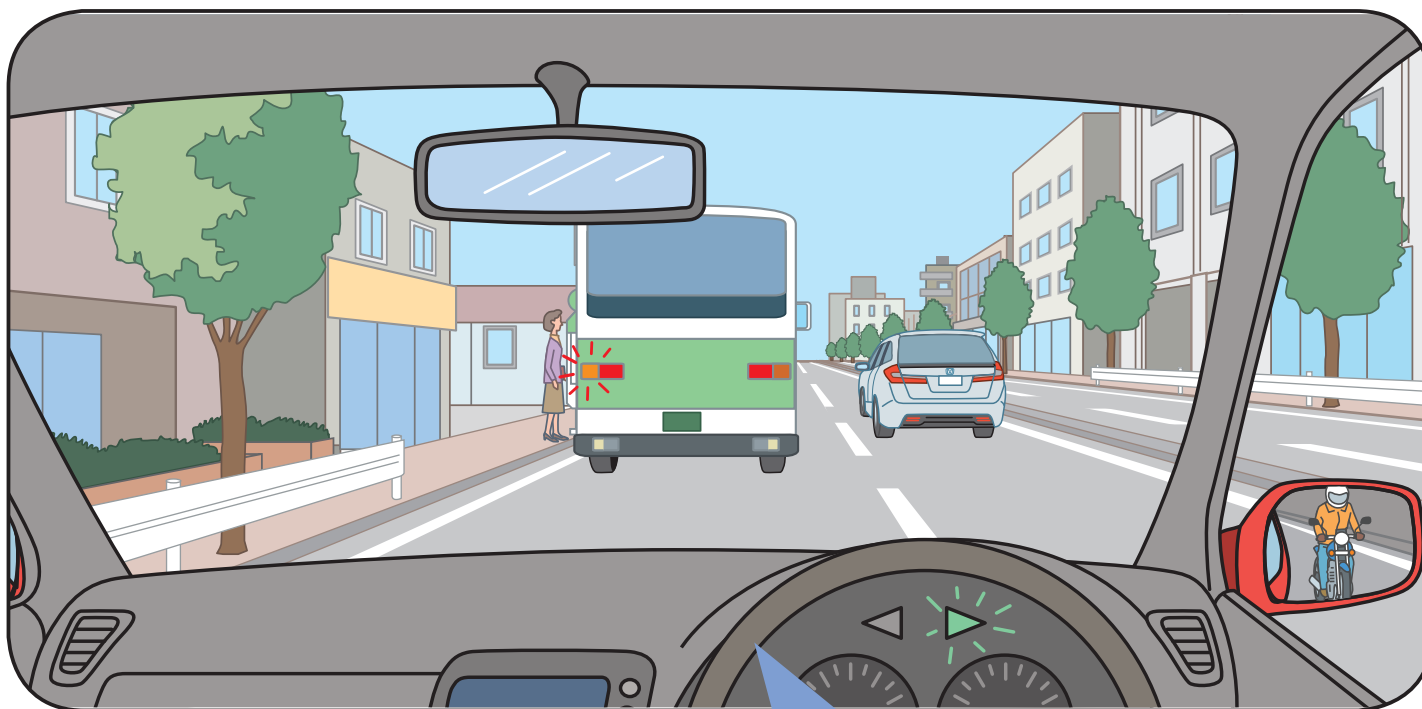


右側の車線に進路変更する時（四輪車編）



あなたは片側 2 車線の道路を走っています。
前方を走行しているバスが停車したので、
右側の車線に進路変更しようとしています

安全に通過するには、
どのようなことを予
測する必要がありますか？

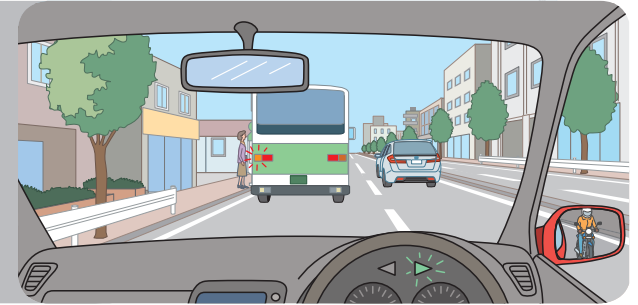
【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

右側の車線に進路変更する時（四輪車編）

あなたは片側2車線の道路を走っています。前方を走行しているバスが停車したので、右側の車線に進路変更しようとしています

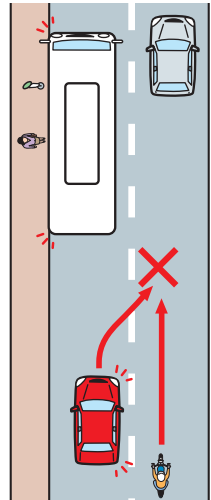
安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？



答え

このような状況ではこんな危険があります

- 右のサイドミラーにバイクが映っています。急に右側の車線に進路変更するとバイクと衝突する危険があります。その一方、後方ばかりに気をとられていると、停車したバスに追突してしまう可能性もあります。また、ミラーの死角に、クルマやバイクがいるかもしれないので、進路変更する際にそうした車両との衝突も考えられます。



ここがポイント

進路変更する時は、ミラーだけでなく目視で確認

- クルマは走行中、みだりにその進路を変更してはいけません（道路交通法第26条の2）。今回のように、やむを得ず右側の車線に進路変更する場合は、バックミラーとサイドミラーで後続車の状況を確認する必要があります。また、ミラーに何も映っていなくても死角に車両がいる場合がありますから、ミラーに映らない死角は必ず目視で確認することが大切です。
- 同一方向に進行しながら、進路変更する際は、その行為をしようとする時の3秒前に合図（ウィンカー）を出し、その行為が終わるまで継続しなければなりません（道路交通法第53条）。思わぬ接触事故や追突事故を避けるために、ドライバー・ライダーは合図を出すことで後続車などに進路変更の意思をしっかりと伝えましょう。
- 後方に気をとられていると、停車しているバスへの注意が疎かになりがちです。後方だけでなく、前方の状況も確認して追突事故を避けましょう。
- 今回のケースでは、バイクのように後方を走行中、前方のクルマが進路変更の合図を出した場合、ドライバーから見落とされる可能性があります。ライダーは前車の急な割り込みなどを予測して運転することが大切です。

【使用上の注意】

● 営利目的での利用はおやめください ● 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ● その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736